

STAR

ディスクモータ

TAARUP

取扱説明書

製品コード K42079

型 式 TA214

製品コード K42080

型 式 TA214H

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIスター

目 次

項 目	ページ
1、はじめに.....	1
2、安全に作業を進めるために.....	2
3、一般的な安全基準の説明.....	2
4、TA214NO警告ステッカーの説明.....	6
5、使用に際しての注意事項.....	8
6、トラクターの必要装備品.....	9
7、仕様.....	10
8、トラクターへの装着.....	10
9、PTOジョイントの取り付け.....	12
10、作業位置、移動位置と格納時の状態.....	13
11、ストッププレートの調整.....	15
12、刈り高さの調整.....	16
13、スワースボードの調整.....	16
14、刈り取り作業.....	17
15、安全装置の調整.....	18
16、保守管理.....	19
16-1、ナイフの交換と点検.....	19
16-2、Vベルトの張り調整.....	20
16-3、オイルチェックと交換.....	21
16-4、ボルト、ナットの交換と注油.....	22
17、トラブルシューティング.....	24
18、修理について.....	24

1、はじめに

この度はクバナランド ターラップ社製ディスクモアー、T A 2 1 4型をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、4連の直装式ディスクモアーT A 2 1 4型（以下本機）の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。

ご使用の前に必ず、この取扱説明書を良く理解するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。

- ・お読みになった後も、必ず近接して保存して下さい。
- ・本機を貸与又は譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- ・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店にご注文下さい。
- ・なお、本機については予告なしに仕様の変更をする場合がありますのでご承知ください。

警告サイン

本書に記載した注意事項や、本機に貼られてある警告ステッカーの表示がある場所は、人身事故の危険性が十分に考えられる重要な所です。よく読んで厳守して下さい。

なお、ステッカーが破損したり、はがれたりした場合は、お買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼って下さい。

本書に明記されている下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守り下さい。



危険

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な障害が生じる危険が極めて大きいことを示します。



警告

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な障害が生じる危険が存在することを示します。



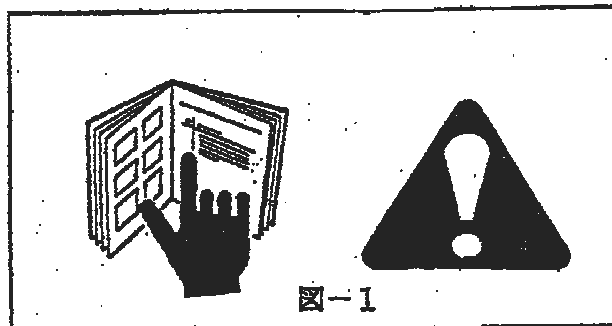
注意

安全な取扱に対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な障害が生じる危険が極めて大きいことを示します。

2、安全に作業を進めるために

本機の所有者、作業および修理に携わる人は、この取扱説明書に記載されている注意事項を作業を始める前に必ず理解してください。（図-1）

農業機械での作業は常に注意深く進めてください。
安全のために取扱説明書を熟読して下さい。
安全はあなたの義務です。



このシンボルが記載されている箇所には特に注意して下さい。このシンボルは重大な事故が発生する恐れがあることを意味しています。これは警戒することを強調するものであり、事前に事故を防ぐ注意事項が記載されています。

このシンボルは取扱説明書や本機の危険な箇所に使用しています。このシンボルはあなたの安全のためにあり、いかなるときでもこのシンボルに注意して下さい。

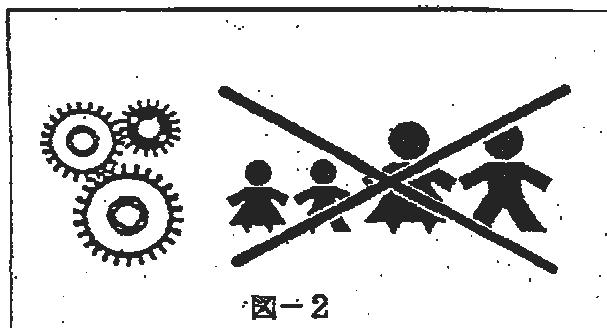
3、一般的な安全基準の説明

3-1 次の項目に該当する場合は本機を使用しないで下さい。

- ・ 飲酒したとき
- ・ 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な運転ができないとき。
- ・ 妊娠しているとき。
- ・ 取扱方法を熟知していない人。

作業員以外の人近づいたら注意

トラクターや本機に人や動物が近づいたら
エンジンをスタートさせないで下さい。
トラクターと本機の間には、絶対に入らないで下さい。（図-2）



3-2 本機の使用範囲

本機は牧草の刈り取りのみに使用して下さい。
絶対にその他の作業には使用しないで下さい。
(図-3)

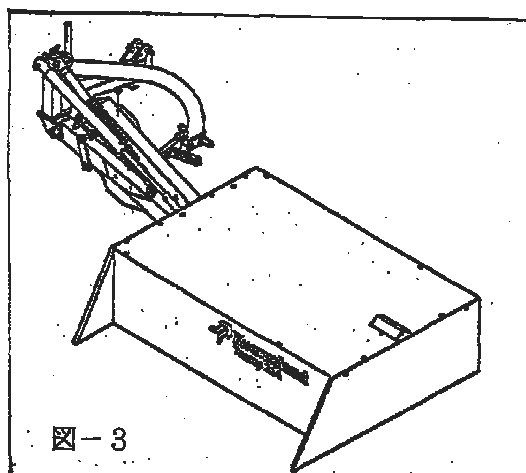


図-3

3-3 作業をするときの服装

機械に巻き込まれたり滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き、腰しタオルをしないで、ヘルメットや滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない服装で安全な作業をして下さい。

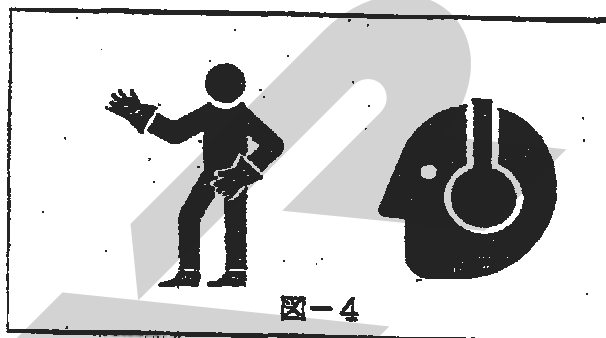


図-4

3-4 保護防具の着用。

ゴミやホコリの多い所では、適当な防塵マスクを着用して下さい。(図-4)

3-5 適用トラクター以外への装着厳禁

本機は正しいサイズのトラクターに装着しなければなりません。トラクター重量は、装着した作業機とのバランスが十分取れていることが、必要です。(図-5)

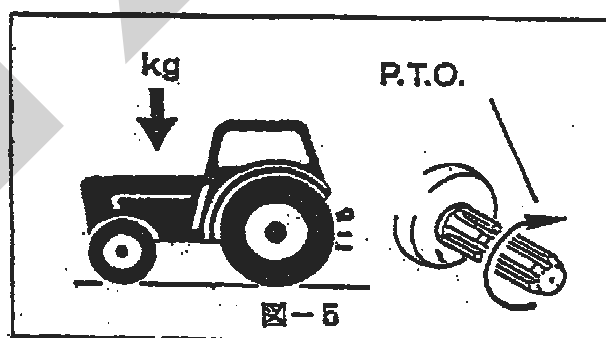


図-5

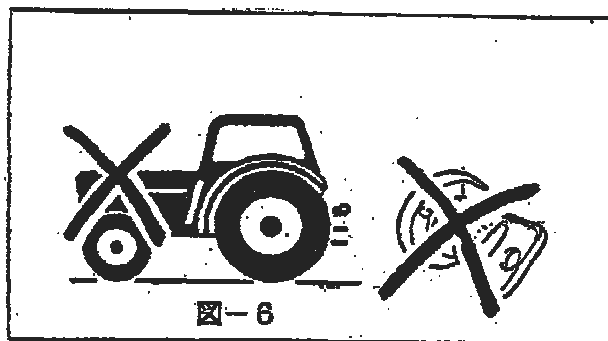
適用トラクター

P T O馬力	33～
カテゴリ	I / II
P T O rpm	540

3-6 トラクターへの装着

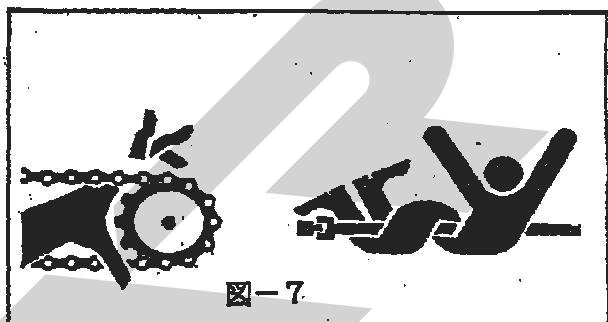
取扱説明書に従った方法で行って下さい。
道路走行時は、日本においては作業機を装着した状態での、公道の走行は認められておりません。

3-7 本機の修理や洗浄、給油、保守点検
常にトラクターのエンジンを止め、キーを抜いて
下さい。交通の危険がなく、機械が転倒したり、
動いたりしない平坦で安定した所で、行って下さい。
(図-6)



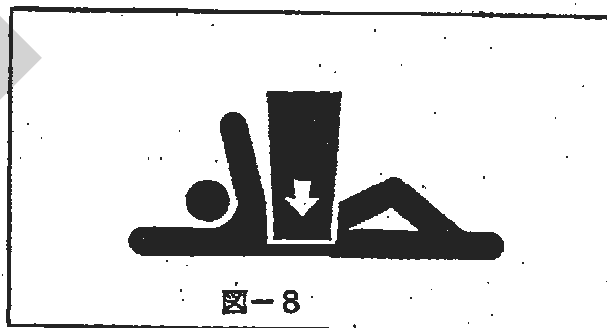
3-8 安全カバーの確認

安全カバーは正しい位置に取り付けて下さい。
安全カバーがしっかり取り付けられていないとき
は、絶対にトラクターのエンジンを始動させない
で下さい。ユニバーサルジョイントのプラスチック
チェックガードには、特に注意して下さい。破損し
ていればすぐに交換して下さい。プラスチック
ガードはチェーンで固定して下さい。また、その
チェーンはユニバーサルジョイントの妨げになら
ないようにして下さい。(図-7)



3-9 トラクターから離れる場合の注意

トラクターから本機を外す時や、トラクターから
離れる場合は、全ての装置をニュートラルの状態
にして下さい。本機は地面に降ろし、安定した
状態にして下さい。また、本機のタイヤに輪止め
をかけて下さい。子供を農業機械の近くで絶対に
遊ばせないように、また近寄らせないようにして
下さい。(図-8)



3-10 安全運転

安全はあなたの義務です。不注意や気の抜けた運転は重大な事故や死に至る危険性があり
ますので注意下さい。

3-11 作業時の注意

丘陵地帯での登坂作業は、不安定な状態になりますので、注意して下さい。
必要に応じて、トラクターにバランスウエイトを装着して下さい。

3-12 移送時の注意

トラクターとの連結部が確実に固定されているか、点検して下さい。本機の各部品がしっかりと固定されているか、確認して下さい。軟弱で不安定な所を走行、旋回する時は速度を落とし、注意深く走行して下さい。

3-13 点灯器具

点灯する時間帯での走行時、必要なランプやリフレクターの取り付けは、本機の所有者、または本機取扱者の責任であり、義務です。なお、日本においてはトラクターに作業機を装着しての公道走行は、禁止されています。（図-9）

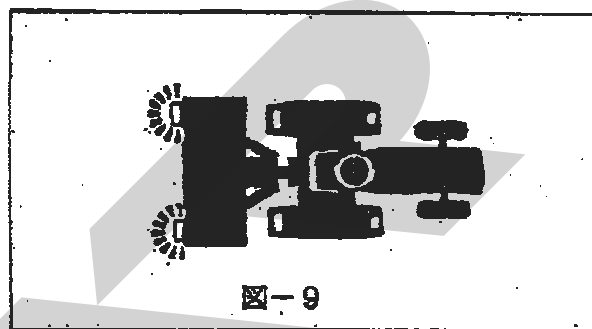


図-9

3-14 安全装備

トラクター内には、救急箱を常備して下さい。法律に基づいた安全対策設備や環境下での使用をお勧めします。麦わらや乾燥している牧草などを取り扱う作業を行う場合、消火器を常時、携帯しなければなりません。（図-10）

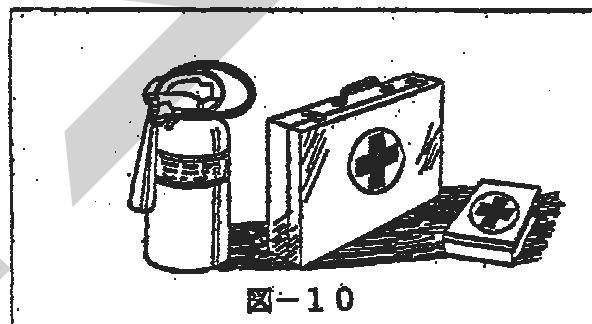


図-10

3-15 純正部品

安全性からも純正部品を使用して下さい。クバナランドターラップ社は純正部品にのみ保証をするものとします。

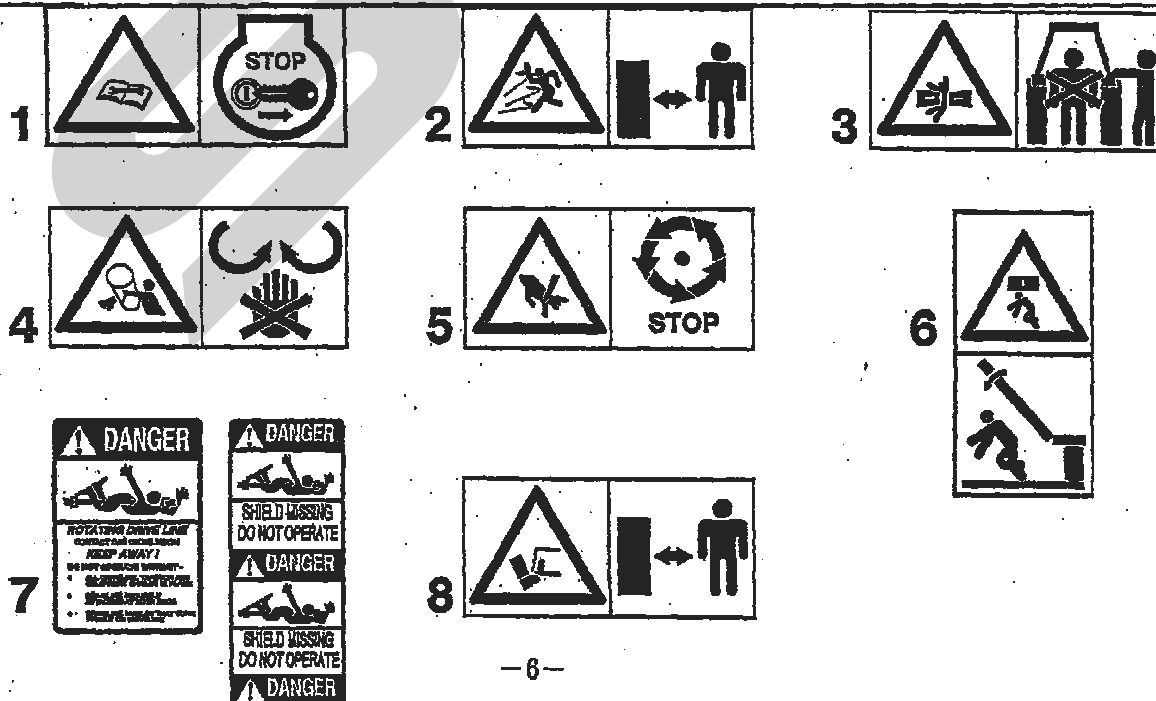
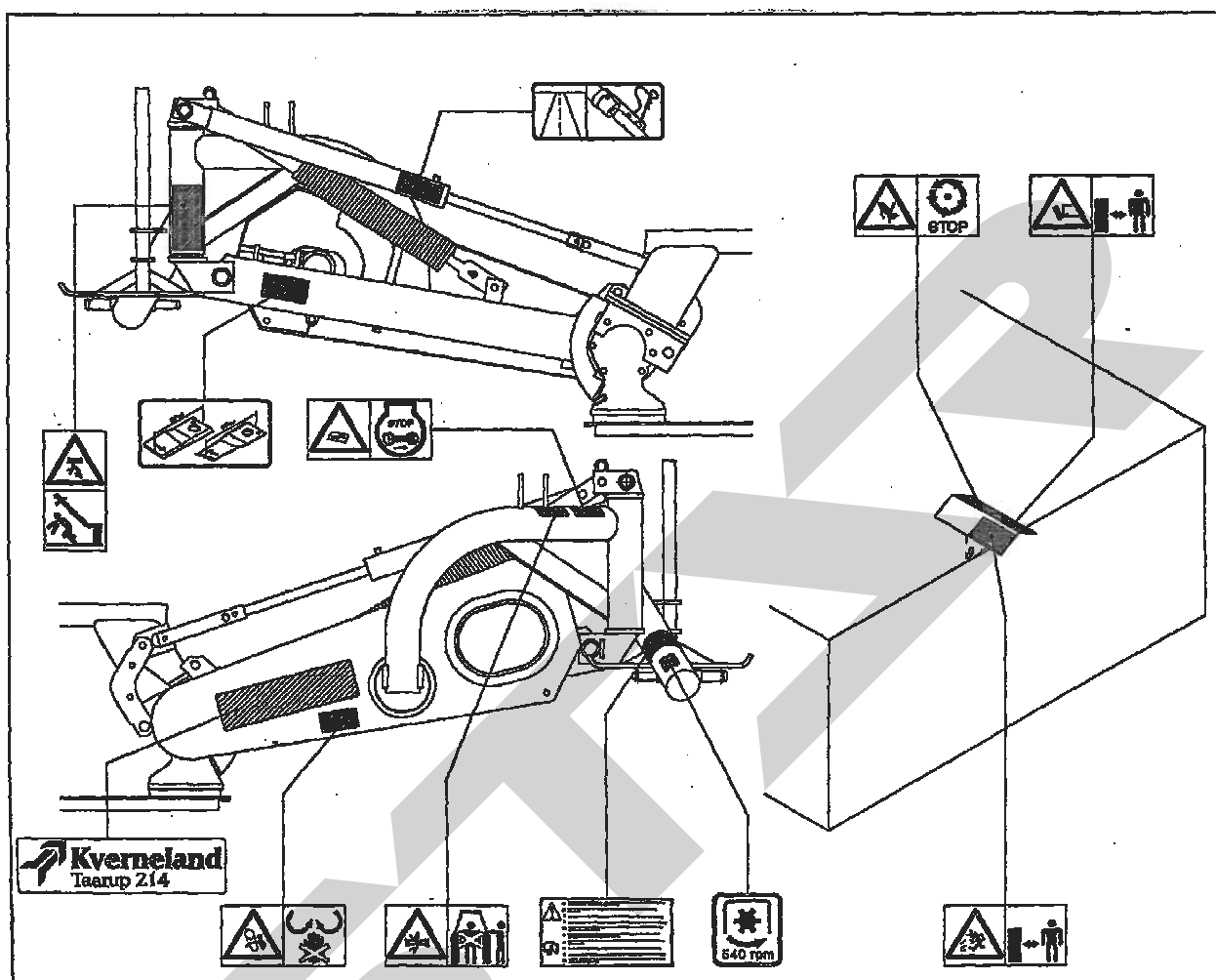
3-16 保守管理

安全で最善な作業状態を保つために保守管理を怠らないように注意して下さい。本機の改造は絶対に行わないで下さい。

最低でも年に1回は整備資格のある販売店での定期検査をお受け下さい。

4、TA214の警告ステッカーの説明

本機を安全にご使用戴くため規定の場所に警告ステッカーが貼られています。もし、そのステッカーが損傷を受けたり、汚れた場合、または剥がれた場合は交換しなければなりません。



個々のステッカーの説明

- 1、本機を修理したりする時は、本機の突然の作動を防ぎ、また回転している部分に巻き込まれない様、トラクターのエンジンを必ず切って下さい。
修理点検は、取扱説明書に従って修理経験があり、本機を熟知した人が行って下さい。
- 2、刈り取り作業中は、石やその他の夾雑物の飛散があり、大変危険です。
危険範囲への立ち入りは、決してしないで下さい。大きな障害事故につながります。
- 3、トラクターへの着脱時は、機械の間に挟まれたりしないよう、十分ご注意下さい。
- 4、稼働中のVベルトには決して近づかないで下さい。巻き込まれる恐れがあります。
- 5、本機が完全に停止するまで、決して近づかないで下さい。
特に高速で回転しているナイフは、慣性で回転を続けていますので、完全に停止するまで近づかないで下さい。重大な事故につながります。
- 6、折り畳まれたカッターの横や、本機の下には入らないで下さい。
油圧の操作で突然に下降する事もあり、重大な事故につながります。
- 7、回転するシャフトに巻き込まれない様に注意して下さい。
シャフトカバーは、正しい方法でしっかりと固定して下さい。
衣類や髪の毛等が巻き込まれて、重大な事故につながります。
- 8、ビニールカバーを必ず所定の場所に取り付け、石等の飛散物を防いで下さい。
また、作業中は危険な範囲に立ち入らない様、十分注意して下さい。

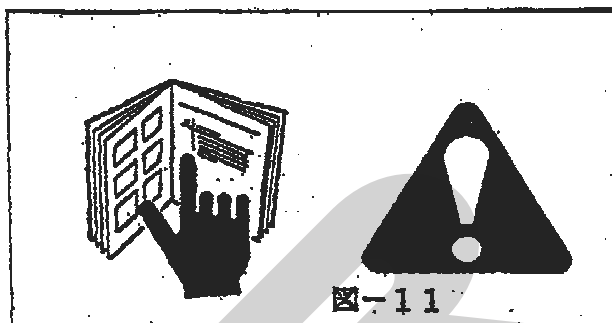
5、使用に際しての注意事項



注意

本機を最初に使用するときには、十分に注意して下さい。不適格な取り付けや、誤った使用方法是本機の故障の原因となり、修理費の増加または、収入の減少につながる事もあります。

この取扱説明書の指示に従わず作業が行われた場合は、クバナランドターラップ社よりの保証期間内においても、機械に対する保証が受けられませんのでご注意下さい。（図-11）



注意

本機が正しく組み立てられているか、破損が無いかを点検して下さい。安全カバー、ガードが所定の位置に取り付けられているか確認して下さい。

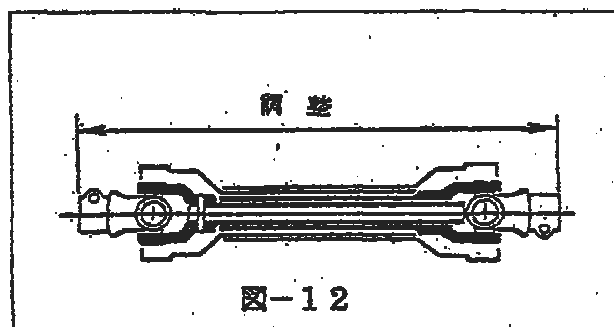


注意

PTOジョイントの取り付けには、特に注意して下さい。PTOジョイントは長くても短くても、本機とトラクターに大きな破損が生じます。

また、ジョイントにはトラクターに取り付ける方向を矢印等で示していますので、正しく接続して下さい。

（図-12）



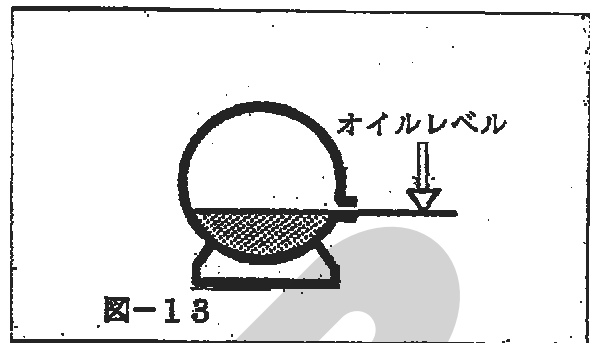


注意

作業を始める前は、給油を行って下さい。
ギヤーボックス、カッターバーのオイル量の
確認、グリースニップル及びジョイントヨー
ク部への、グリースアップを行って下さい。

(図-13)

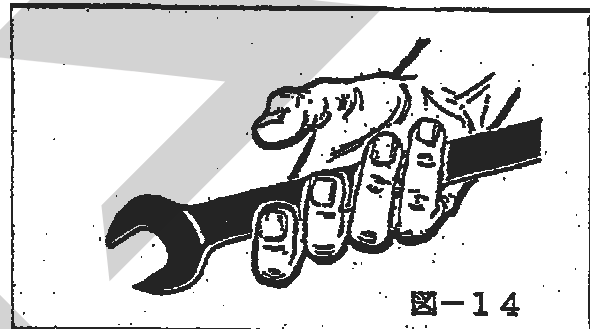
(ページの保守管理の項参照)



注意

作業を始める前に全てのボルトが締まっている
か点検して下さい。特にナイフの取り付け
部のボルトの緩みが無い点検して下さい。

(図-14)



6、トラクター必要装備品

① 重量

トラクターは本機に合ったサイズのものを選び、使用する地域の法規に従って下さい。

② PTO回転数の選択

必ず540rpmで使用下さい。

③ PTO所要馬力

33ps~で使用下さい。

④ 装着方式

カテゴリⅠ／Ⅱで3点リンケージ機構の装備されたトラクターに装着下さい。

7、仕様

型式	TA214
カテゴリ	I / II
ディスク数	4
ナイフ数	8 (2枚/1ディスク)
作業幅 m	1.45
移動時幅 m	1.90
所要PTO馬力 ps	33~
重量 kg	280
入力PTO回転数 rpm	540
ディスク回転数 rpm	2850
ナイフの長さ mm	107
Vベルト 本	3

8、トラクターへの装着

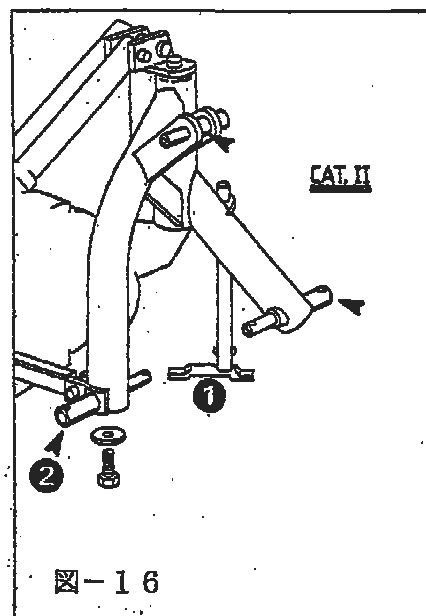
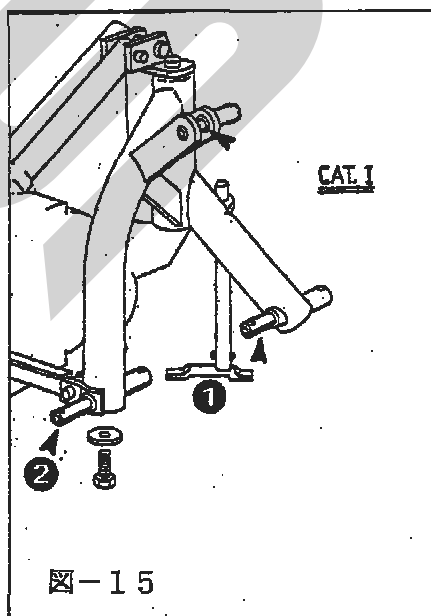
本機は常に安定した平らな場所でトラクターに装着して下さい。

もし、ボルト類の緩みや欠落があれば、速やかに増し締め、補修を行って下さい。

必ずトラクターのエンジンを切り、全ての回転が停止したことを確認した後に実施して下さい。

サポートレッグ①を取り付け、カッターバーを作業状態（水平）にして下さい。

3点フレームの右側リフトピン②の付け換えで、カテゴリIとIIのどちらのトラクターにも取り付けられます。（図-15、16）



トラクターの左側ロアーリンクが、本機の3点フレームの左側リンクピンと同じ高さになる様に、トラクターの油圧で調整します。また、右側はトラクターのリフトロッド高さ調整ハンドル（図-15-④）で合わせます。

取り付けは、左ロアーリンク、右ロアーリンク、トップリンクの順で行います。
ロックピンの取り付けを忘れない様にします。

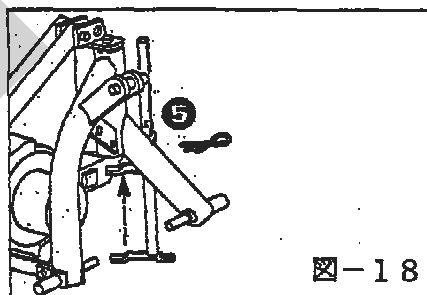
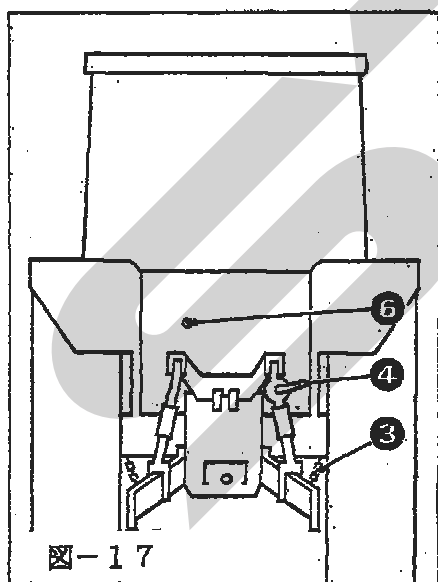
取り付け後、本機を地面から持ち上げ、サポートレッグを移動位置（図-18-⑤）にスライドします。

トラクターの左右のロアーリンクの高さが同じになる様に、右側のハンドル（図-17-④）で調整します。

トラクターのチェックチェーン（図-17-③）を張り、横振れを防ぎます。

カッターバーを油圧で昇降できる仕様の場合は、トラクター側に単動1連の油圧取り出し装置が必要です。（図-17-⑥）

シリンダーとホースの接合部に1mmφの絞り弁が入っています。これはカッターバーを下げるときに、急激に作動させない為のもので、決して取り外さないで下さい。



9、PTOジョイントの取り付け

本機とPTOジョイントを接続する時は、必ず次のことを守って下さい。

- 1、PTOの接続をOFFにする。
- 2、トラクターのエンジンをOFFにし、キーを抜く。
- 3、全ての動きが停止するまで待つ。

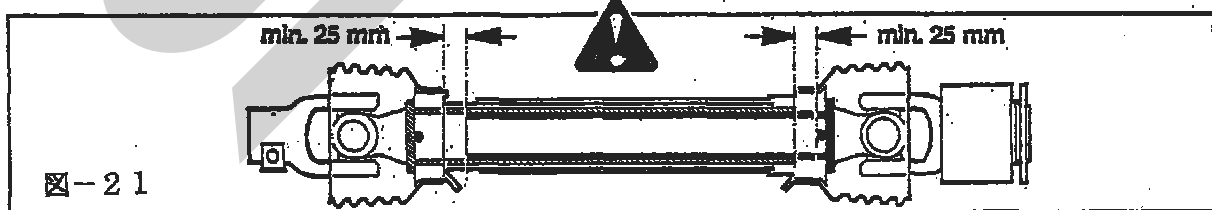
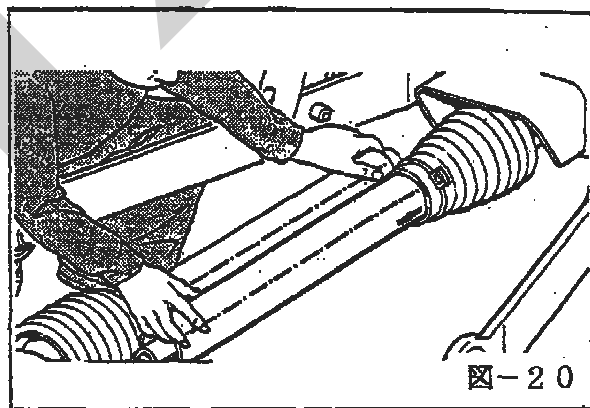
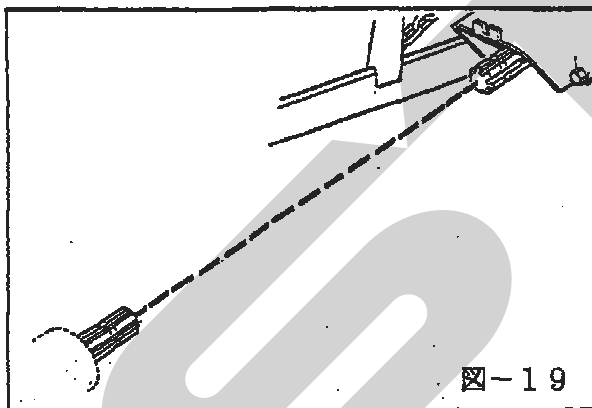
PTOジョイントが適正な長さになる様に次の要領で調整します。

トラクターPTO出力軸と本機の入力軸が一直線上になる様にトラクターの油圧を操作して調整します。(図-19) この時が軸間が最短になります。

PTOジョイントの OUTER と INNER のチューブを抜き出し、それぞれ片方ずつを軸に取り付け重なりを確認します。(図-20)

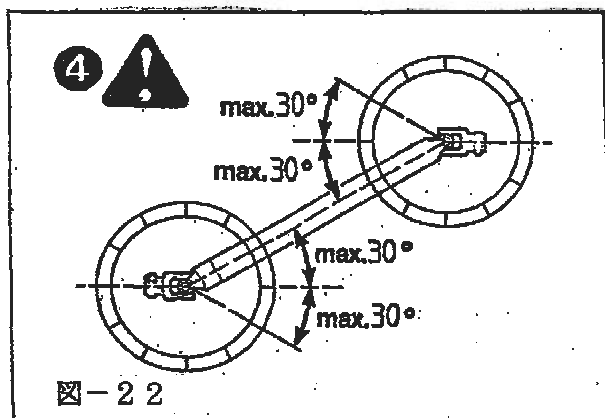
OUTER と INNER のチューブの重なりは、出来る限り多く取り(最低150mm必要)チューブの両端は25mm以上の間隙を取って下さい。(図-21)

必要に応じてジョイントを切断して下さい。



P T Oジョイントの切れ角は、30度を越えないように注意して下さい。

本機を昇降させるときは、切れ角に十分注意をして下さい。30度を超す場合はP T OのスイッチをOFFにして、完全に回転が停止してから昇降させて下さい。（図-22）



10、作業位置、移動位置と格納時の状態

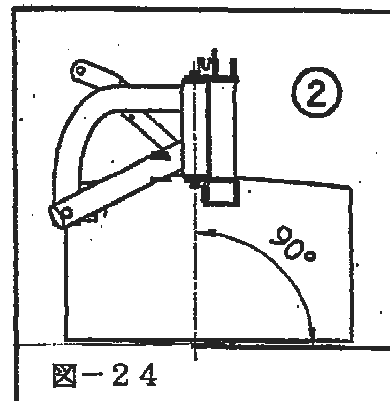
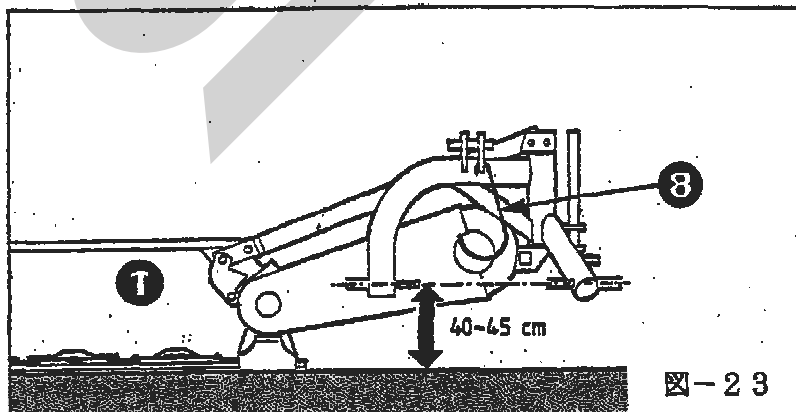
常にカッターバーが圃場に対して、均一なバランスで軽く接している様にする為に、本機の高さ設定は重要な要素です。

作業位置の設定

カッターバーをクランクハンドル又は油圧の操作で地面に降ろします。（図-23-①）

ロアリンクピンの中心から地面までの高さが40～45cmになる様に、トラクターの油圧で下げ高さを設定します。（図-23の寸法参照）

モアフレームが垂直になる様にトップリンクの長さで調整します。（図-24-②）



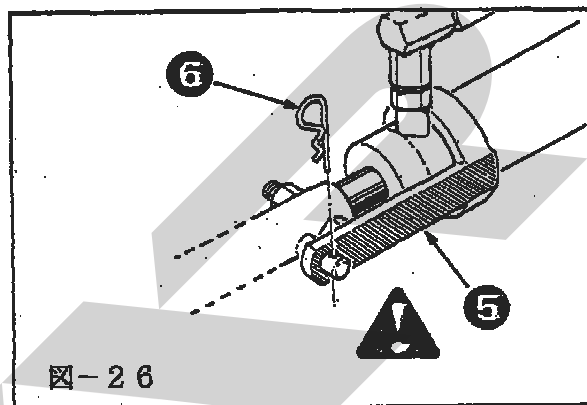
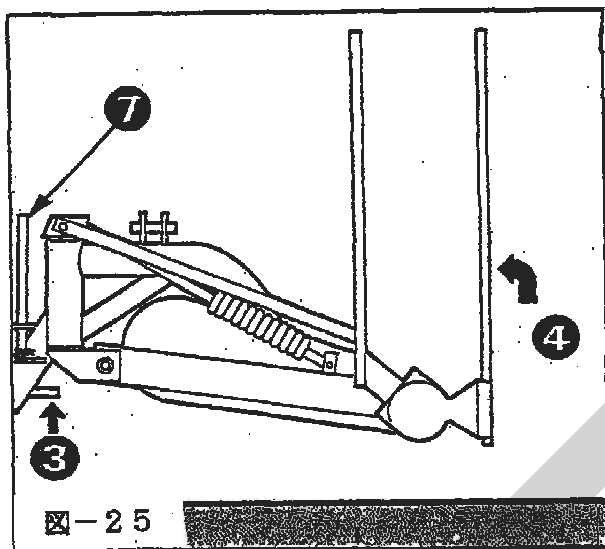
移動位置への設定

本機を地面から約10cm程持ち上げます。(図-25-③)

カッターバーをクランクハンドル、又は油圧の操作で垂直状態に立ち上げます。

(図-25-④)

油圧式カッターバー昇降タイプはシリンダーロック(図-26-⑤)とロックスプリング(図-26-⑥)で固定して下さい。



格納時の状態

本機を作業位置にします。(カッターバーを水平状態)

サポートレッグ(図-25-⑦)を下げ、トラクターから取り外します。

外したジョイントはブラケット(図-23-⑧)に乗せておきます。

11、ストッププレートの調整

本機を作業位置にします。① このときロアーリンクの接続部から地上までの高さが40～45cmになる様に設定します。(図-27)

クランクハンドルを回転させ、ストッパーとストッパープレートの間隙を3～5mmに調整します。(図-27の拡大図参照)

この間隙が正しく調整されていないと、カッターバーの圃場に対する追従性が悪くなります。

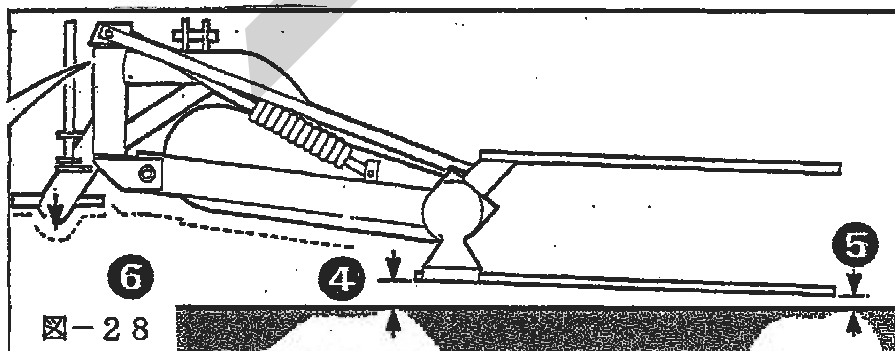
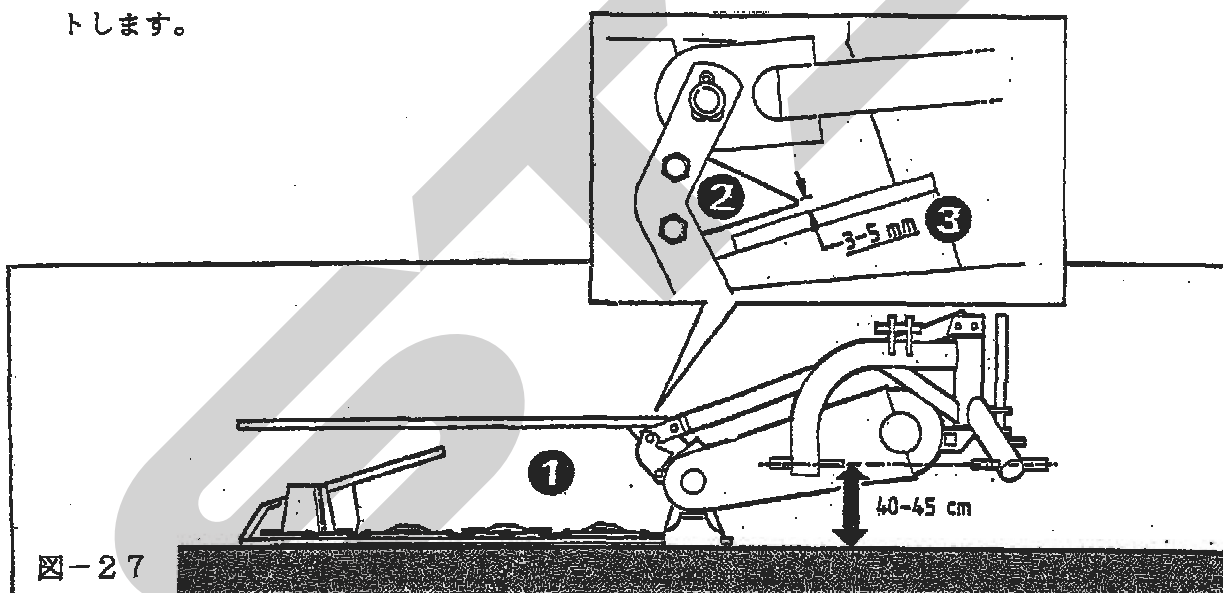
本機が油圧式カッターバー昇降タイプの場合は、次の様に調整します。

カッターバーを30cm程トラクターの油圧リンクで持ち上げます。(図-28-④)

次に本機シリンダーの油圧を使い、カッターバーの先端が約20cmになるまで下げます。

(図-28の⑤)

この状態で本機全体を下げて行き、リフトピンから地面までの距離が40～45cmにセットします。

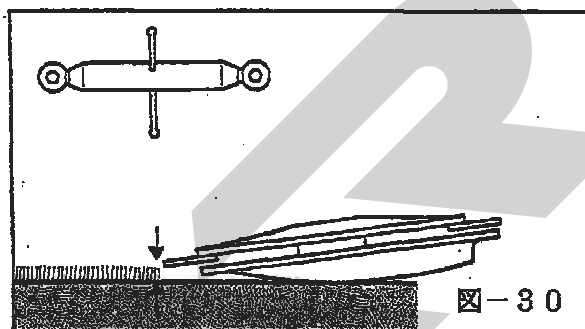
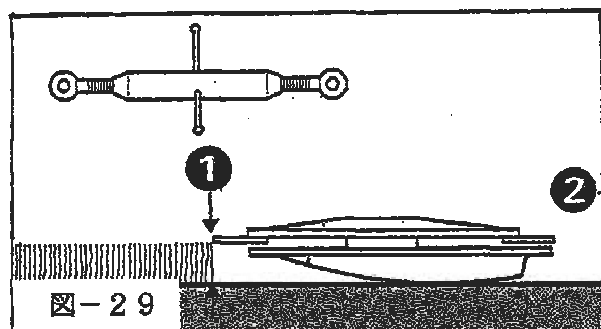


12、刈り高さの調整

刈り高さの調整はトラクターのトップリンク（図-29①）の長さで調整します。

最適な位置はレベルポジション（図-29②）ですが、必要に応じてトップリンクの長さで調整します。

トップリンクを短くすると 低刈り
トップリンクを長くすると 高刈り

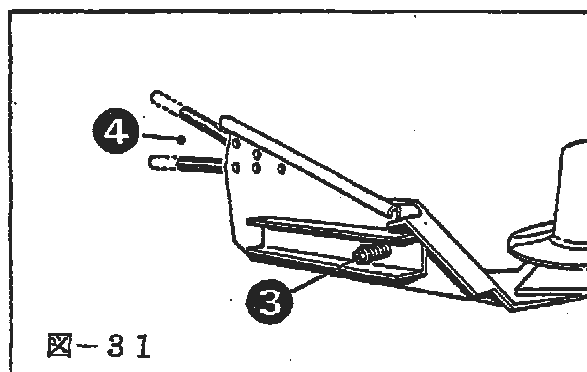


刈り株跡が長かったり、2度刈りが見られる様でしたら、多少トップリンクを短めに設定して下さい。（図-30参照）

13、スワースボードの調整

カッターバーの外側に取り付けられているスワースボードはスプリングで内側に押さえられています。この強さは必要に応じて、スプリングの締め付け強度で調整します。（図-31③）

注意）スプリングの締め過ぎは破損の原因になります。手で軽く動く程度に締めて下さい。



後方のスティックは4段階にセットでき、又、取り外す事もできます。草の状況に応じて調整して下さい。（図-31-④）

14、刈り取り作業

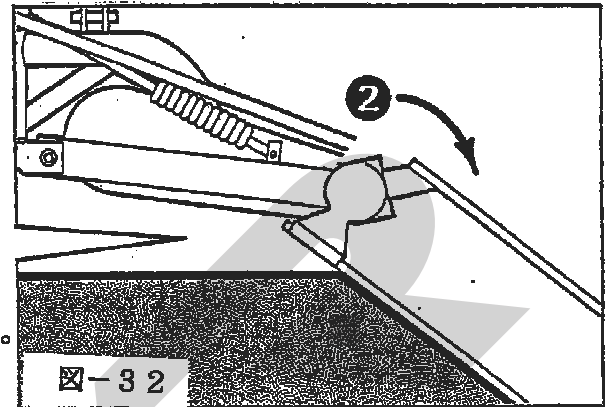
警告) オーバーヒートでの作業は火災の原因になります。

注意) 圃場の周辺を刈り取る時は、障害物や側溝がある可能性が高いので、作業速度を落として下さい。また、石や夾雑物の飛散も考えられますので、十分注意をして下さい。

注意) 上下方向での作業においては、状況によりカッターバー内のオイル温度が上昇する事もありますので、定期的にトラクターのエンジンを切り、オイルの過熱がないか、確認して下さい。

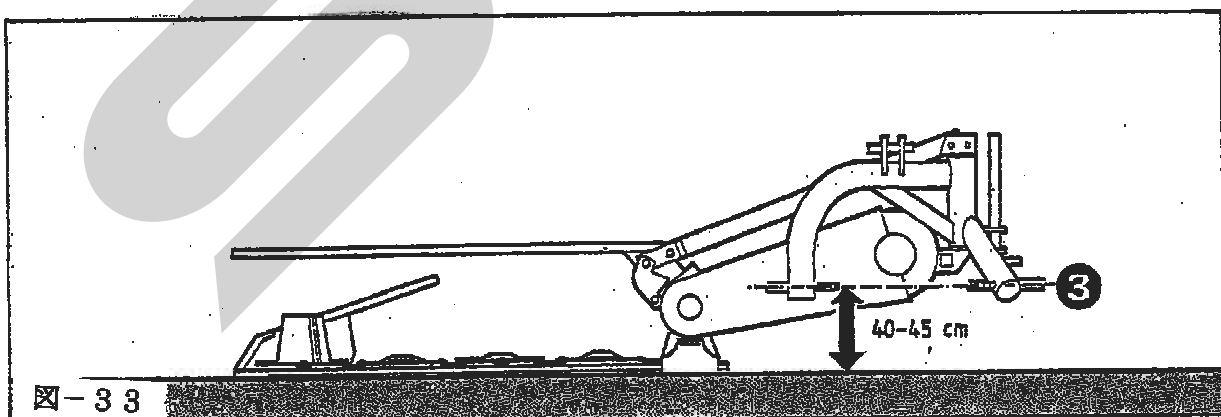
(図-32-②)

高温になっていたら、直ぐに作業を中止して下さい。



作業手順

- 1、トラクターを圃場の中に入れ、ゆっくりとモアーを地面に降ろします。
この時の本機の高さは40～45cmを守って下さい。(図-33参照)
 - 2、PTOをゆっくりと接続し、徐々に回転を上げて行きます。
 - 3、PTOの回転数は定格の540rpmに設定し、作業を行って下さい。
 - 4、トラクターの作業速度は7～12km/毎時で、圃場の条件に合わせて設定して下さい。
 - 5、旋回方向は、時計回りで作業を行い、圃場周囲に残った牧草は、反時計回りにゆっくりと刈り取ります。圃場の周囲は飛散物が多いので、ゆっくりと注意深く作業を行って下さい。
 - 6、傾斜地での急旋回を行わないで下さい。トラクターの転倒事故につながります。
- 注意) 決してカッターバーを垂直の状態で作動させないで下さい。



作業中は機械の近くに、人や動物を近づけないで下さい。

石などの飛散があり、とても危険です。 また、安全カバーが正しく取り付けられている事を確認して下さい。

15、安全装置の調整

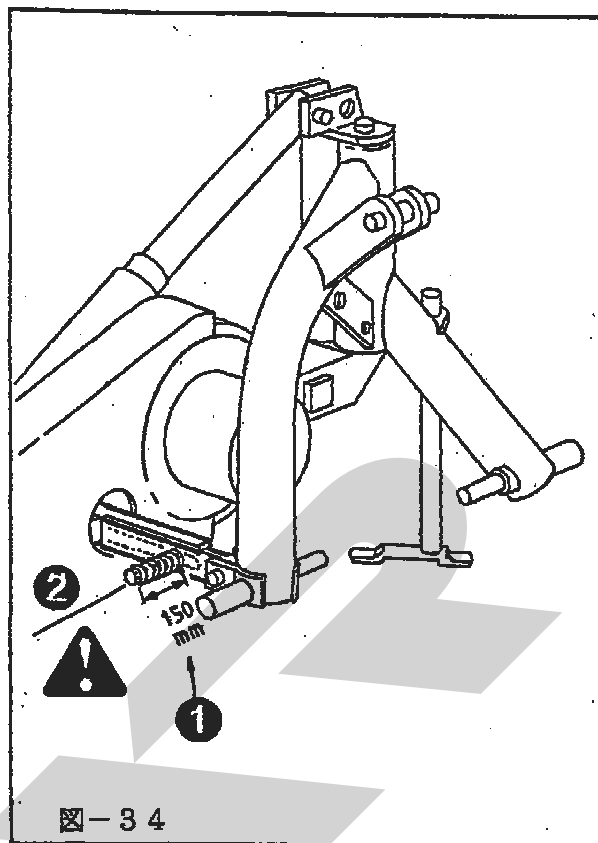
このモアーには、カッターバーが障害物に当たった時に保護する、安全装置（図-34-①）が組み入れられています。

もし装置が作動した場合は、すぐにトラクターを停止し、5～6m程バックさせてリセットして下さい。

またトラクターのエンジンを切り、本機の破損がないか点検する事と、障害物を取り除く事を忘れないで下さい。

安全装置が常に正しく作動するか確認します。

スプリングの長さ（図-34-②）は150mmです。



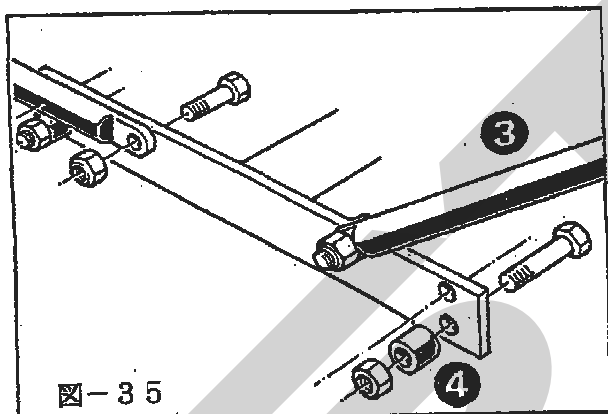
安全カバー

石などの飛散を防止するために本機には安全カバーが取り付けられています。

前方のフレーム（図-35-③）は、高さの調整ができる様になっています。

通常は下の穴の位置で作業を行って下さい。

（図-35-④）



16、保守管理

本機を清掃、調整、注油、点検するときは、必ず次のことを守って下さい。

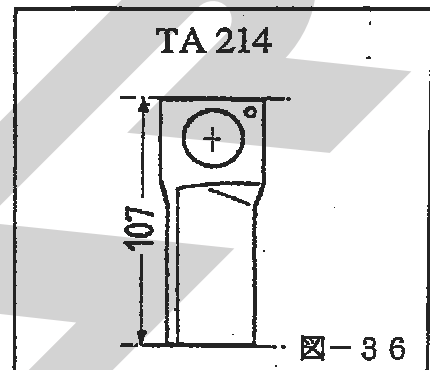
- 1、PTOの接続をOFFにする。
- 2、トラクターのエンジンをOFFにする。
- 3、全ての動きが停止するまで待つ。
- 4、トラクターからPTOジョイントを取り外す。

これらの条件を厳守したときこそ、安全を確保したことになります。

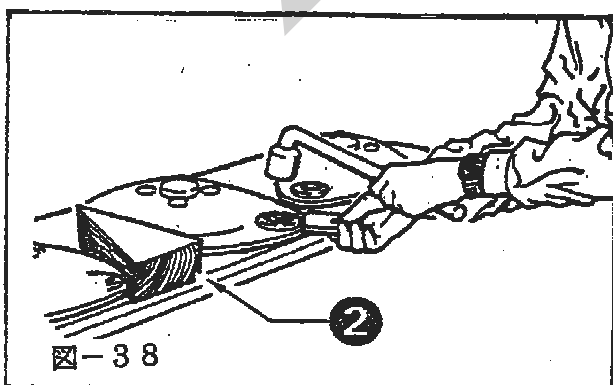
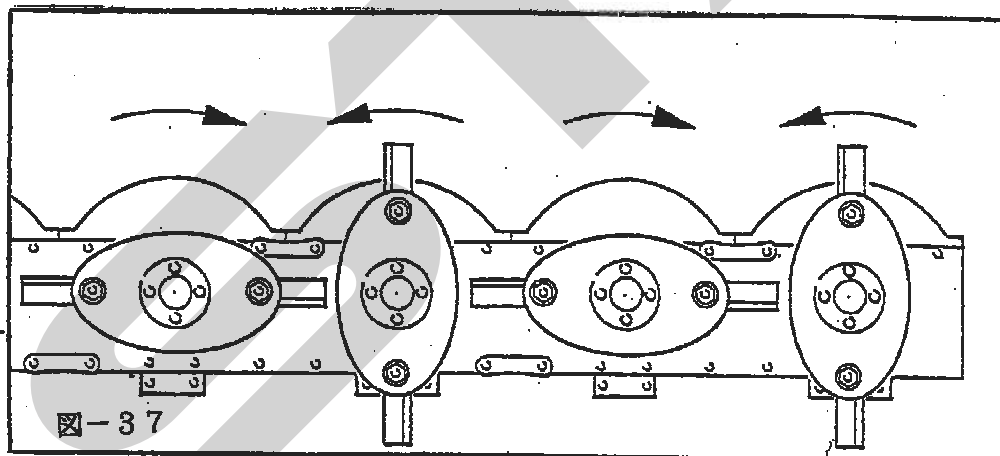
16-1 ナイフの交換と点検

ナイフが摩耗すると、無駄な馬力を必要とするだけでなく、牧草の再生にも悪影響を及ぼしかねません。早めの交換をしましょう。

装着されているツイストナイフ（図-36）は長さが107mmの両面使用可能な特殊ナイフで2度刈りを防ぎ、きれいな刈り取り作業を行います。



ナイフの刃の面とディスクの回転方向は（図-37）の様になります。間違わないように交換して下さい。



スパナを回転させる事で発生する、ディスクの回転止めに、図-38-②の様に木製のブロックを置くと便利です。

但し、新しいナイフと古いナイフの同時装着は、振動の原因になるばかりでなく、重大な事故の発生を招きます。

ナイフは常に自由にスイングできる状態であるか点検し、動きの悪い時は、夾雑物の除去をして下さい。(図-39)

また、ナイフの穴径とボルトの穴の遊びが5mm以上になると危険です。速やかに交換して下さい。(図-40)

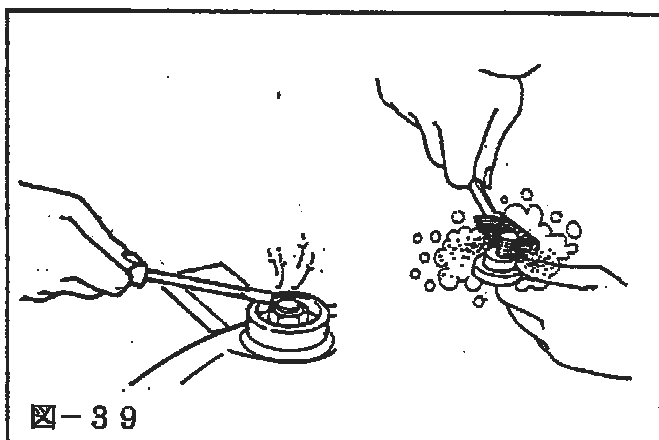


図-39

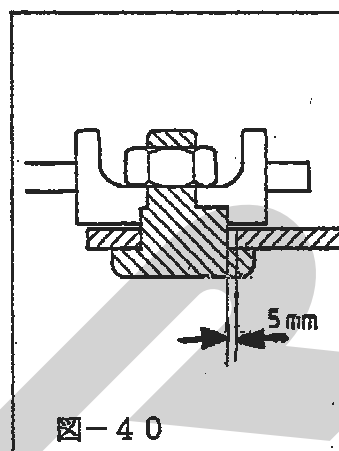


図-40

ナイフは必ずクバナランド ターラップ純正ナイフ/ボルト/ナットをご使用下さい。

16-2 Vベルトの張り調整

Vベルトx 3本は、定期的に張り具合を調整して下さい。

適正なベルトの張りはベルトの中心で15mm程下がる程度です。(図-41-①)

必要に応じて、次の要領でベルトを張って下さい。

ロックボルト(図-42-②) 2本を緩めます。

テンションボルトのナット(図-42-③)を時計方向に50Nmのトルクで回します。

ベルトの中心で15mmになるかチェックします。

調整後ロックボルト2本を締めます。

ベルトの交換は同時に3本行って下さい。

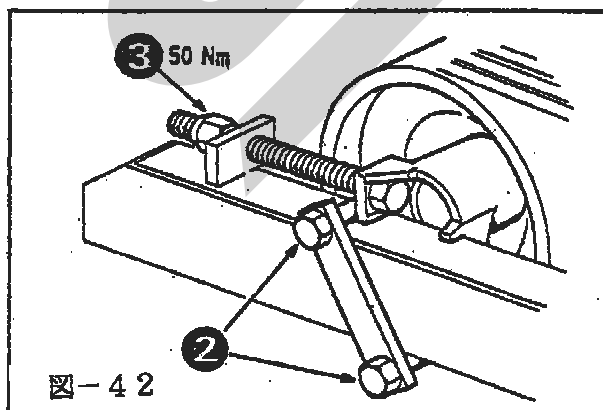


図-42

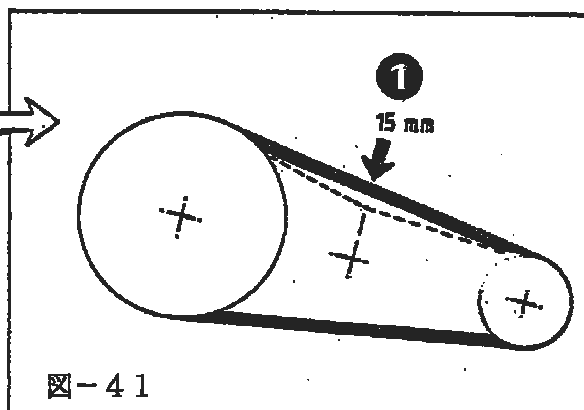


図-41

16-3 オイルチェックと交換

ギヤボックスとカッターバー（図-44-①、②）には、SAE80W-90のオイルを注入しています。

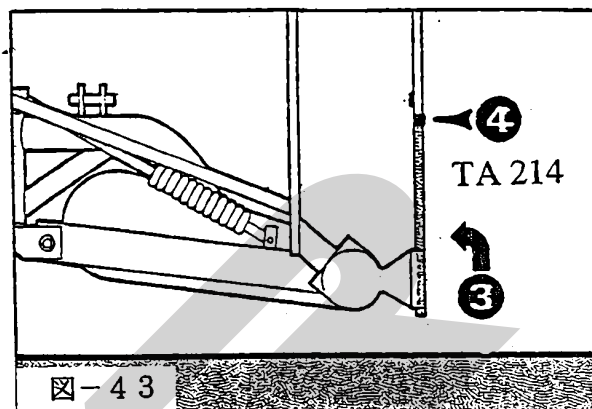
初めて新品を使用する時や、使用中、及び毎年の使用前には、必ずオイルのレベルを確認して下さい。

カッターバーのオイル量のチェック方法

刈り取り作業後、直ぐにカッターバーを垂直の位置にして下さい。（図-43-③）

オイルが自然に落下するまで、そのまま一晩放置します。

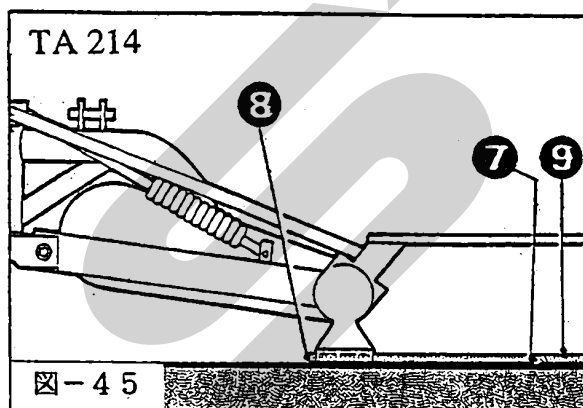
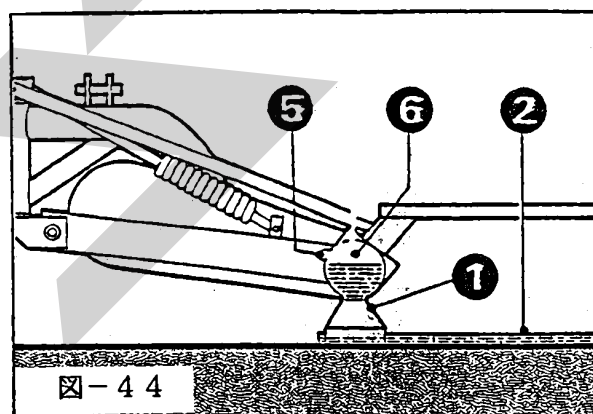
翌朝レベルプラグ（図-43-④）でチェックし、オイルが滲み出ればオイル量は定量です。



ギヤボックスのオイル量のチェック

カッターバーを作業状態と同じ水平にします。

プラグ（図-43-⑤）を外し、オイルが開口部近くにあれば規定量です。



プラグの位置とオイル量

TA214はカッターバーにレベルプラグ（図-45-⑧）と注入プラグ（図-45-⑨）を別々に持っています。

ドレンプラグは、カッターバーの左横にあります。

従ってカッターバーを垂直に立ち上げると、完全に抜き取る事ができます。

オイル量

カッターバー 1,10リッター

ギヤボックス 0,25リッター

オイルの規格 SAE 80W-90

オイル交換

オイルは少なくとも1年に1回もしくは定期的に交換して下さい。
また必要に応じて補充して下さい。

カッターバーのオイル交換

6角レンチを用いてプラグ（図46-①）を外し、一晩オイルを排出してから再度プラグをしっかりと閉めます。

プラグ（図-46-②、③）を外して、②の注入口から規定のオイルを③のレベル口からこぼれ出るまで注入します。

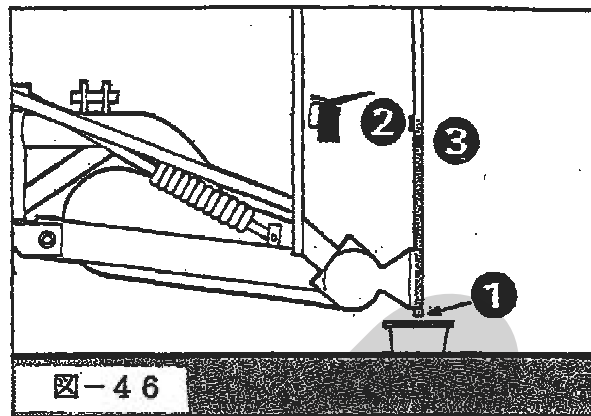


図-46

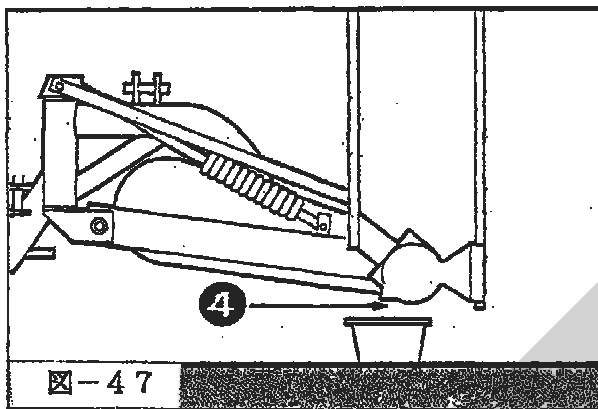


図-47

ギヤーボックス

カッターバーを垂直の状態にしてプラグ（図-47-④）を外し一晩オイルを抜き取ります。

カッターバーを水平の状態にして同じプラグ（図-47-④）から規定量のオイルを注入します。

オイルの入れ過ぎは、オーバーヒートの原因になり、シール等を破損する恐れがあります。

16-4 ボルト、ナットの点検

作業開始の1時間後に全ての部品をチェックし、必要に応じて増し締めを行って下さい。
また日常的な点検として、作業10時間毎に全ての部品のチェックをして下さい。

カッティングディスクは、約2850rpmと高速回転しています。

従って、ナイフを固定しているナット

（図-49-①）や、ディスクを固定しているボルト（図-49-②）は、正しく締め付けられている事が大切です。

規定トルクは90Nm（9kgm）です。

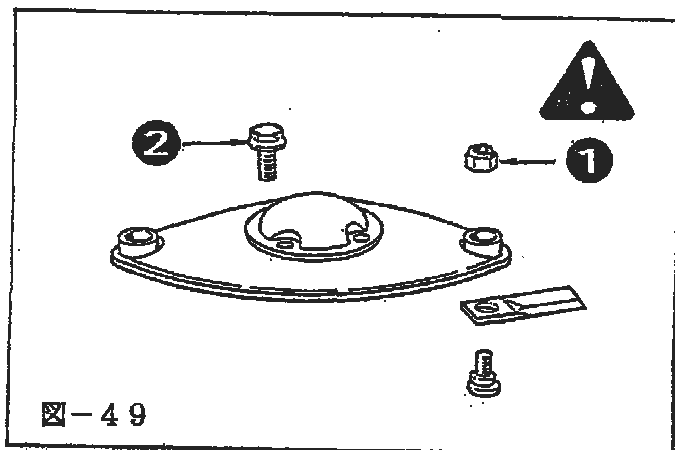
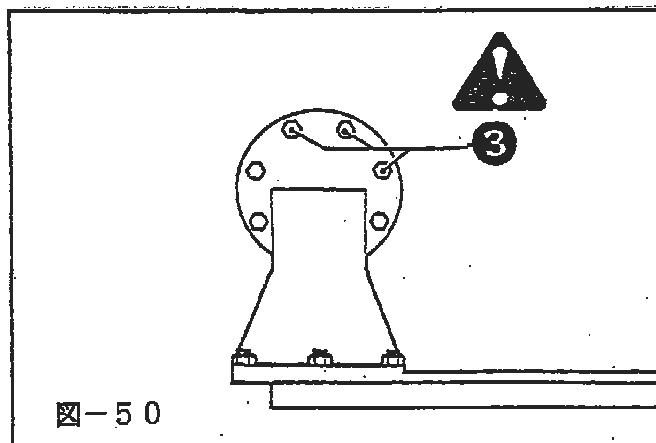


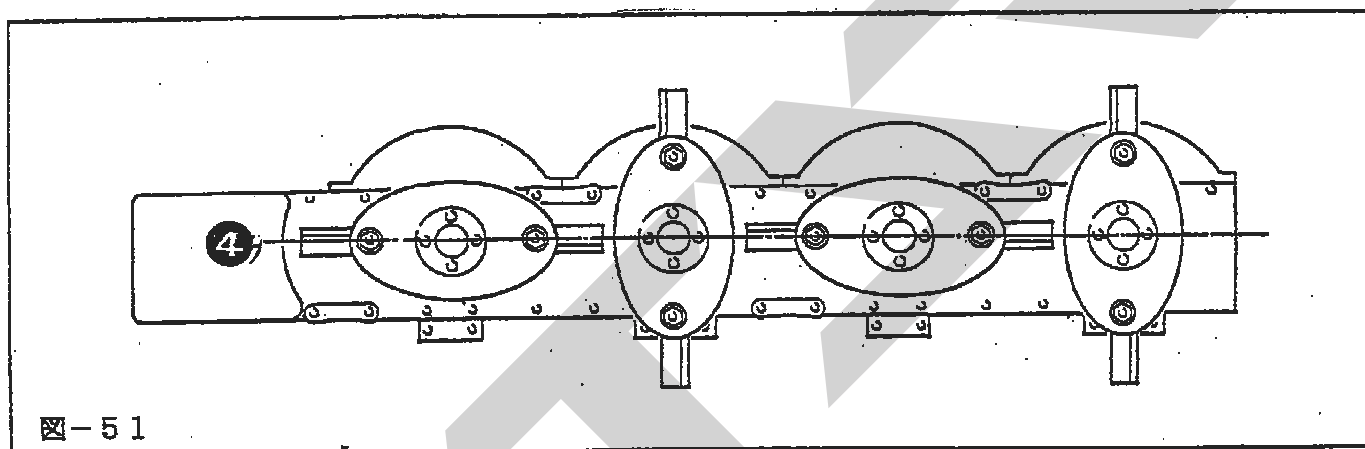
図-49

ギヤボックスに取り付けられているサポートフレームの3本のボルト（図-50-③）は規定のトルク160Nm（16kgm）で締め付けられているか、定期的にチェックして下さい。



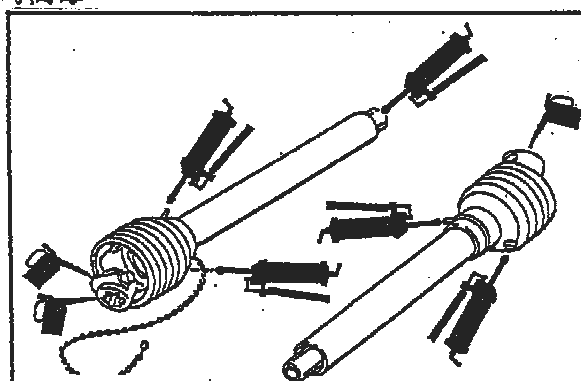
カッティングディスクのタイミング

修理等でディスクを外した場合は、再度取り付ける時にディスクの配列（図-51-④）に注意して下さい。

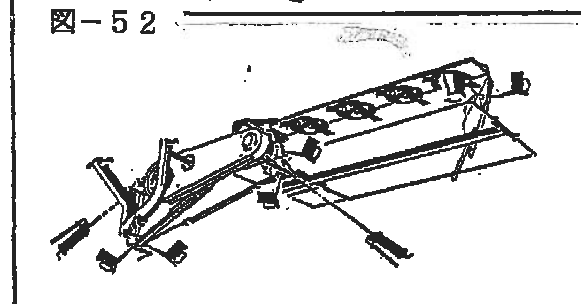


グリスアップ箇所（図-52-⑤、⑥） 10時間毎

メインフレームのバー2ヶ所
PTOジョイントヨーク4ヶ所
PTOジョイントチューブ合わせ目



注油箇所（図-52-⑤、⑥） 日常
クランクハンドルのネジ部（手動式の場合）
PTOジョイントのスプライン部とロック部
ストップカムのスイング部
集草板のスプリング可動部



17、トラブルシューティング

現 象	原 因	対応方法	参 照
刈り高さが安定しない	P T Oスピードが正しくない	P T Oスピードは540rpm	P 17
	ナイフが切れない、曲がっている	ナイフの交換、研磨を	P 19
	ベルトがスリップしている	ベルトを張る	P 20
	ナイフが回転方向に正しく取り付けられていない	正しい方向に取り付ける	P 19
	本機が高く取り付けられている	ローアリンクピンの高さは40～45cm	P 13
	リンケージアームのストップの調整が悪い	ストップの調整	P 15
ナイフがディスクに当たる	ナイフの長さが間違っている	正規のナイフを付ける	P 19
	ディスクのタイミグが間違ってる	ディスクノタイミングをチェック	P 23
ギヤーボックスがオーバーヒートする	オイルレベルが間違っている	オイル量のチェック	P 21
音が大きい	Vベルトの張り過ぎ	テンションの再調製	P 20
ディスクの回転がやや重い	ディスクガードが曲がっている	ガードの修正	
	ディスクの下にゴミやロープがある	取り除く	P 20
	ナイフボルトの取り付けが間違っている	正しい方法で取り付ける	P 20

18、修理について

修理は、工場設備に熟知し、安全で責任のあるマナーに基づいて農業機械の修理を行える、特別な教育を受けた資格を持った人が行って下さい。

部品の交換をする場合は、クバナランド ターラップ社の純正パーツをご使用下さい。

STAR

本社 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽 4 条 9 丁目 3 番 3 5 号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ 1 1 9 1 番地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西 2 2 条北 1 丁目 1 2 番地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町 2 丁目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花巻営業所 028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第 1 1 地割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙台営業所 983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字神明 1 7 9 - 1
TEL 022-388-8673
FAX 022-388-8735

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 861-8039 熊本県熊本市長嶺南 1 丁目 2 番 1 号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-1202 宮崎県都城市高城町穂満坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233